

グローバル・カフェ 留学報告イベント(ニュージーランド)を開催しました

2026年5月13日(水)、留学報告イベントを実施しました。報告者は春休みにニュージーランドでの3週間の研修を終えた教育学部3年の岡崎佑哉さんで、学生27名、教職員10名の計37名が参加しました。

最初に岡崎さんが参加した、「グローバル・スタートアップ海外研修プログラム」の説明がありました。このプログラムは、香川県・大学・企業などの連携による香川グローバル人材共創事業の一環で実施する、県内大学在籍者を対象とした海外研修プログラムです。学生が自分で設定した地域課題の解決をテーマに、海外で実践活動(インターン・フィールドワークなど)を行うのが特徴で、香川の持続可能な発展に貢献する人材を育成することを目的としています。留学前後の研修やコミュニティ活動も含め、学びを地域に還元する仕組みがあります。



岡崎さんの副専攻は外国人児童・生徒に対する日本語教育だそうです。香川県の現状として、少子高齢化で日本人の子どもの数が減少する一方で外国人の人口が増えているにもかかわらず、小中学校での受け入れ体制が整っていないため、外国人児童・生徒へのいじめや不登校につながる問題があり、それを解決することを課題として設定しました。

そこで、国として多文化主義政策をとるニュージーランドを研修先を選び、首都WellingtonにあるTe Aro School(全校児童210名のうち100名あまりが移民・難民)で、外国人児童に配慮した多文化主義教育がどのように実施されているのかを調査しました。現地で岡崎さんが観察したことは、必ずしも事前に想定していたことではないことも多く、今後の研究のための新たな課題を見つけることになったそうです。



岡崎さんは発表の最後に、「留学を決意できたのは、先輩の一言が後押ししてくれたから。皆さんも僕の発表を聞いて少しでも興味を持たれたら、なんでも聞いてください!」と、参加者に励ましの言葉を贈ってくれました。